

つなごう。驚きを。幸せを。

NTT
docomo

トピックス

2024年12月20日

株式会社 NTT ドコモ

NFT 最新規格 ERC6551 を搭載するブロックチェーンゲーム「GT6551」を開発 ～ERC6551 の特徴を活かし複数の NFT を組み合わせてゲームアイテムをオリジナルカスタマイズ～

株式会社 NTT ドコモ（以下、ドコモ）は、NFT（非代替性トークン）^{※1}の最新規格 ERC6551 を搭載したブロックチェーンゲーム「GT6551」（以下、本ゲーム）を開発し、2025年1月29日（水）からβ版の提供を開始いたします。ERC6551 の特性を用いて複数の NFT を一つにまとめ、その組み合わせにより NFT の機能をカスタム（構成）できるブロックチェーンゲームの提供は世界初^{※2}となります。

ERC6551 は、NFT の機能を拡張する新しい規格で、その大きな特徴として複数の NFT を組み合わせ、一つにまとめる機能を有しています。本ゲームは、その特徴的な機能に着目して開発したもので、ユーザーはゲーム内で用いる NFT アイテムの一つであるレーシングマシンに、車のパーツなどの NFT アイテムを自由に複数組み合わせ、それらを一つにまとめた NFT アイテムとして作成することができます。作成したレーシングマシンはオリジナルの自身のコレクション（資産）として所有するなど、まったく新しい価値を提供するブロックチェーンゲームです。また、ゲーム上では、レーシングマシンにアイテム（NFT）を複数組み合わせ、マシンの性能を向上させるなど、プレイヤーの自由度が広がり、新しいゲーム体験をお楽しみいただけます。



【GT6551 ゲーム画面イメージ】

本ゲームは、ドコモが開発するメタバース「MetaMe^{※3}」上でプレイ可能なレーシングブロックチェーンゲームで、具体的には、レーシングマシンの性能やデザインをカスタムする「部品 NFT」と、レーシングマシンに搭乗するドライバーをカスタムする「ドライバーNFT」の2種類のNFTを組み合わせることでレーシングマシンをカスタム^{※4}いただけます。



【ゲームプレイ画面イメージ】

なお、本ゲームは、「MetaMe」上で、2025年春に提供開始^{※5}を予定しています。提供開始に先駆けたβ版の提供のほか、本ゲームの開発を記念して、2024年12月21日（土）に開催されるweb3のeスポーツイベント「NEO SERIES 2024 Rd.Final^{※6}」において本ゲームを初公開^{※7}いたします。

ドコモは、ERC6551を搭載したブロックチェーンゲーム「GT6551」の開発を通じて、「MetaMe」の利用拡大を進めるとともに、ERC6551の価値や魅力を追及し、メタバースやweb3など新たな技術開発やサービス展開をしていくことで、web3のさらなる普及と社会実装の加速をめざしてまいります。

- ※ 「GT6551」の内容は、β版を含めサービス提供時に、ゲームの仕様、サービス内容は予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。
 - ※1 NFTとは、「ブロックチェーン上で構築される代替不可能なデジタルデータ」のことをさします。
 - ※2 2024年12月20日現在、NTTドコモ調べ。
 - ※3 「MetaMe」はドコモが開発したメタバースで、自分の価値観を理解したAIによりマッチング可能な、新しい形のコミュニケーション空間です。
 - ※4 「部品NFT」「ドライバーNFT」は「MetaMe NFT マーケットプレイス」^{※8}にて2025年2月から販売開始を予定^{※5}しています。
 - ※5 詳しいサービス提供開始時期、販売開始時期については、MetaMe公式サイト上(<https://official.metame.ne.jp/>)で決まり次第順次お知らせいたします。
 - ※6 「NEO SERIES」は、モータースポーツ×Web3のエンタメを促進するNFTプロジェクト「NEO NFT PROJECT」が主催するeスポーツイベントで、「NEO SERIES 2024 Rd.Final」は2024年の最終ラウンドです。NFTを所有することで出場することができ、優勝すると賞品/賞金として人気NFTや仮想通貨が獲得できます。イベントにはオンラインでご参加いただけます。詳細については、NEOの公式サイト(<https://neonftproject.com/>)をご確認ください。
 - ※7 開発環境でのゲームプレイ画面となります。
 - ※8 「MetaMe NFT マーケットプレイス」およびMetaMeにNTT Digitalの提供する「scramberry WALLET SUITE^{※9}」を2025年4月以降に導入を予定しています。「scramberry WALLET SUITE」を導入することで、既存のUI/UXを維持しながらウォレット機能を提供できるため、NFTがより簡単・便利にご利用いただけます。
 - ※9 「scramberry WALLET SUITE」は、スマートフォン用アプリケーションやwebサービスを提供する事業者向けに、デジタルウォレットをはじめとしたデジタル化に必要な機能を、APIおよびSDKとしてモジュール化して提供するサービスです。
- * 「scramberry」「scramberry WALLET SUITE」の名称、およびロゴは株式会社NTT Digitalの商標または登録商標です。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 NTT ドコモ
R&D 戦略部 社会推進実装担当
E-mail : meta-communication-support-ml@ml.nttdocomo.com

「GT6551」の概要



1. 概要

ドコモのメタバースサービス「MetaMe」上でプレイ可能な、ERC6551 準拠の NFT を搭載したレーシングブロックチェーンゲームです。その特徴は ERC6551 の機能を活かし、複数の NFT を組み合わせ、レーシングマシンの性能をカスタムしてお楽しみいただけます。レーシングマシンの性能パラメータ、デザインに影響する「部品 NFT」、レーシングマシンに搭乗するドライバーとしてゲーム画面内に表示される「ドライバー-NFT」をお選びいただき、オリジナルのレーシングマシンのカスタムができます。

※「GT6551」の詳細につきましては、公式サイト (<https://official.metame.ne.jp/event/gt6551>) をご覧ください。

2. 提供開始時期

β版提供開始時期：2025年1月29日（水）

完成版提供開始時期：2025年春（予定）

<β版と完成版の違い>

2025年1月29日提供のβ版では、デフォルトで用意されたレーシングマシンを使ってレースゲームを楽しむことができますが、NFTの性能カスタムはできません。2025年春提供予定の完成版は、「部品 NFT」や「ドライバー-NFT」を活用してレーシングマシンをカスタムし、自分だけのオリジナルマシンを使ってレースゲームを楽しむことができます。

3. ご利用方法

MetaMe 公式サイト (<https://official.metame.ne.jp/>) から、アカウント登録の上ログインいただき、スマートフォンや PC よりブラウザ経由でご利用開始いただけます

4. ご利用料金

無料でご利用いただけます。

※ゲーム内での NFT 購入や、ゲームへ接続するための通信料などは別途発生いたします。

5. 「GT6551」の仕様

GT6551 は、「MetaMe」にアクセスし、画面内「ファストトラベル」から「GT6551」ワールドへ移動することでプレイすることが可能です。3D 視点のレーシングコースを最大 4 人で対戦でき、ドリフト走行や加速アイテムなどを使ってスピードを競います。ゲーム画面はクラウドレンダリングされるため、GPU などの性能に依存せず、PC やスマートフォンからインターネットブラウザ経由でプレイする事ができます。

※「GT6551」の内容は、β版を含めサービス提供時に、ゲームの仕様、サービス内容は予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。

正式名称	GT6551 CLOUD RACING
読み方	ジーティーロックゴーゴーイチ クラウド レーシング
最大同時プレイ人数	4人
プレイ環境	Safari または Chrome が使える PC またはスマートフォン
ブロックチェーンの種類	Polygon ブロックチェーン

6. カスタム NFT 概要

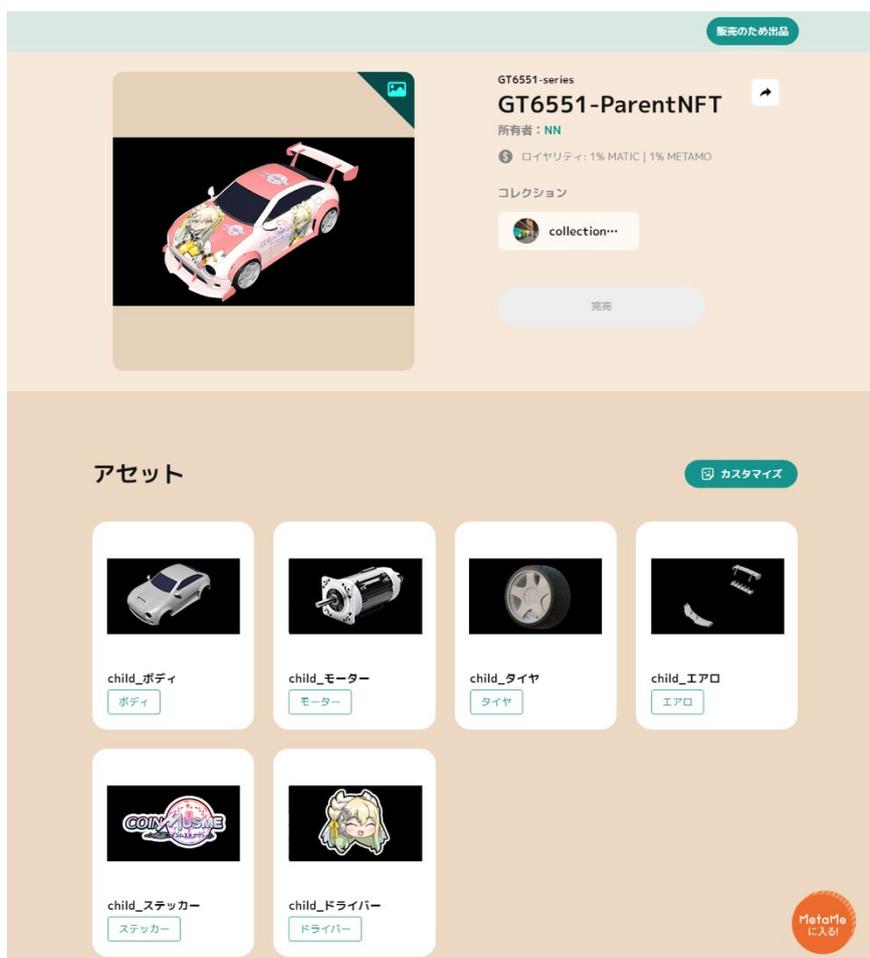
■ 部品 NFT

レーシングマシンの性能、デザインを構成する NFT です。購入した部品 NFT は「MetaMe」内で利用でき、レーシングマシンの性能やデザインをカスタムすることができます。なお、カスタム可能な部品および性能パラメータの種類は以下の通りです。

※部品 NFT は、「MetaMe NFT マーケットプレイス」において 2025 年 2 月から販売開始^{※5}を予定しています。

部品 NFT	部品	サスペンション
		ボディ
		モーター
		タイヤ
		ステッカー
	性能パラメータ	燃費
		加速
		減速
		最高速度
		ハンドリング

【カスタム NFT 概要】



【部品 NFT イメージ】

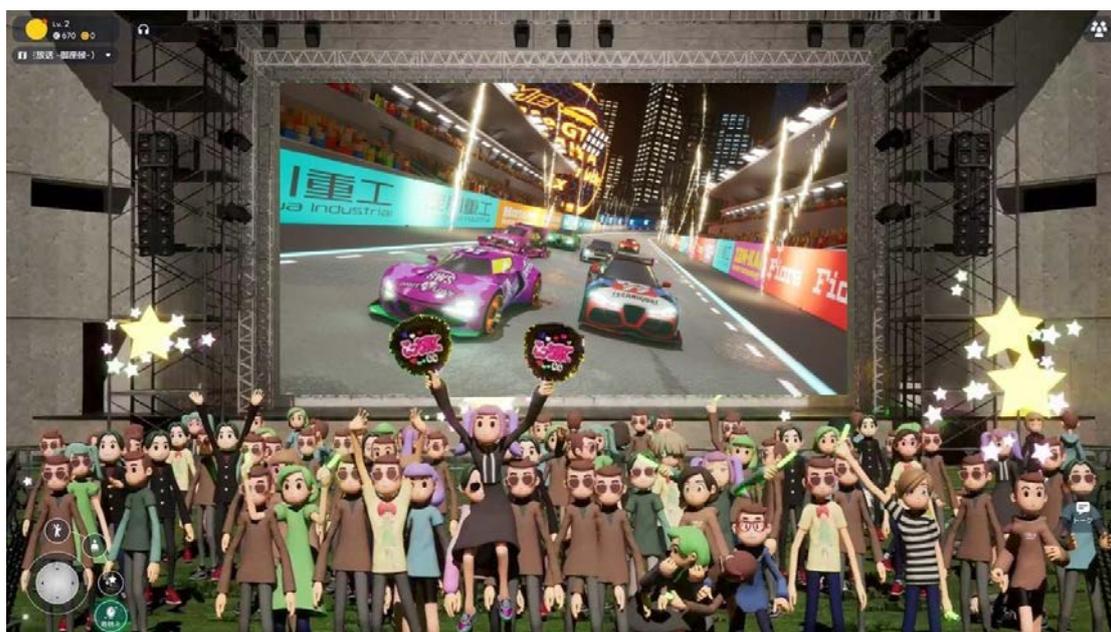
■ドライバー-NFT

レーシングマシンに搭乗するドライバーとしてゲーム画面内に表示される NFT です。ドライバー-NFT をカスタムすることで、どのプレイヤーがゲーム画面内のどのレーシングマシンを使用しているのかを識別しやすくなります。

※ドライバー-NFT は、「MetaMe NFT マーケットプレイス」より 2025 年 2 月から^{※5}販売開始を予定しています。

7. レースのパブリックビューイング

レースゲーム画面は、「MetaMe」内配信空間「MetaMe 生放送」などの配信プラットフォームに配信を行うことができます。また、GT6551 には、レース全体を俯瞰できる「観戦者モード」機能があり、レースしている各プレイヤーのレーシングマシンを俯瞰撮影することができます。たとえば、「MetaMe 生放送」の配信画面に観戦者モードの映像を表示させることで、観客がアバターとなってレースを観戦、応援することが可能となります。なお、配信には OBS^{※10} など RTMP 配信^{※11} に対応したソフトウェアなどが必要です。



【「MetaMe 生放送」でのパブリックビューイング画面イメージ】

8. コラボレーション企画

今後、以下のコラボレーションを企画し、NFT の販売を予定しています。

コラボレーションパートナー	コラボレーション内容	販売開始時期 ^{※5}
NEO NFT PROJECT ^{※12}	コラボ部品 NFT の発売	2025 年 2 月頃
コインムスメ ^{※13}	GT6551 内 BGM のコラボ	2025 年 1 月下旬頃
	コラボドライバー-NFT の発売	2025 年 2 月頃
	コラボ痛車コンビニプリントの発売	2025 年 2 月頃

※10 「OBS (Open Broadcaster Software)」は、オープンソースかつ無料で利用できるライブ配信および録画ソフトウェアです。

※11 「RTMP (Real-Time Messaging Protocol) 配信」は、動画や音声などのマルチメディアデータをインターネットを通じてリアルタイムで配信するためのプロトコルです。主にライブストリーミングの分野で使用されており、OBS のような配信ソフトウェアと連携して、Twitch や YouTube などのプラットフォームにコンテンツを送信する際に利用されます。

※12 「NEO NFT PROJECT」は、次世代のモータースポーツをめざし、ドキドキとワクワクのエンターテインメントを提供する NFT プロジェクトです。NFT ホルダーにより選出された選手が熱い戦いを繰り広げ、熱狂を作り上げる「モータースポーツ × Web3 × エンターテインメント」という全く新しいモータースポーツプロジェクトです。詳細については、NEO NFT PROJECT のサイト (<https://neonftproject.com/>) をご参照ください。

※13 「コインムスメ」は、仮想通貨をテーマにしたキャラクターたちをプロデュースし、ブロックチェーン技術を活用したゲーム体験を提供する NFT ゲーム、およびそのキャラクターたちです。詳細については、コインムスメのサイト (<https://coinmusme.com/>) をご参照ください。

<NEO SERIES 2024 Rd.Final>

「新時代のモータースポーツエンターテインメントを創り出す」ことをミッションとした NEO NFT PROJECT が開催する web3 時代の新しいモータースポーツエンターテインメントである NEO SERIES の 2024 年最終ラウンドで、2024 年 12 月 21 日（土）14 時より docomo R&D OPEN LAB ODAIBA で開催されます。イベント内では「MetaMe CUP」として、コラボレーションパートナーであるコインムスメによる GT6551 の公開試遊を行います。イベントの様子は、MetaMe でもリアルタイムに配信予定です。

<スケジュール>

14:00- NEO SERIES Rd. Final 開会式

15:00- MetaMe CUP

17:00- Jimny CUP

17:30- 表彰式

※詳細については、NEO SERIES Rd. Final イベント公式サイト (<https://lu.ma/h3xlc7pi>) をご確認ください。

<MetaMe>

ドコモが開発する独自のメタバースで、スマートフォン、web ブラウザから基本料金なしにご利用いただけます。特徴として、ドコモが開発する「価値観理解」や「行動変容」、「多人数接続」からなる「メタコミュニケーション技術」を搭載しています。

- ・「価値観理解」は、リアルとバーチャルの空間でシームレスに取得した空間移動履歴などのデータを解析することで、利用者の感情を理解することができる技術です。
- ・「行動変容」は、価値観理解技術により得られた行動のみならず感情など内面の解析結果を反映し、利用者同士のマッチングやイベントのレコメンドなどができる技術です。
- ・「多人数接続」は、ドコモが開発した仮想空間に多くのユーザーが同時に接続することができる技術です。

※詳細については、MetaMe 公式サイト (<https://official.metame.ne.jp/>) をご確認ください。